

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年2月11日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694500069
法人名	医療法人 玉昌会
事業所名	「いこいの里」花いちもんめ
所在地	鹿児島県姶良市加治木町木田4888-4 (電話) 0995-62-2983
自己評価作成日	令和 4年 1月 5日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年2月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

加治木温泉病院の敷地内に併設されており、龍門の滝を望む自然豊かな環境にあります。当事業所は、法人内で一番最初の在宅サービス事業所として誕生しました。四季の彩りを大切に、ご自宅で過ごしていただくような温かい家庭的な環境が特徴です。比較的介護度の高いご利用者様もご入居されており、ご利用者様に寄り添ったケアを職員一同で目指しております。慣れ親しんだ町や地域との交流を継続し、食事、排泄、入浴といった日常生活の活動において、心身の機能を考えながら、ご本人の能力を最大限に生かせるよう生活のサポートをさせていただきます。季節に合わせてイベントを開催し、雄大な自然に囲まれたロケーションにいて、いつでも自然を感じることが出来ます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、姶良市加治木町木田地区の住宅街の一角に、法人母体の医療機関に隣接して平成27年に開設されている。幹線道路から少し入っており個人住宅に囲まれた閑静な環境で、少し離れて市加治木支所、金融機関や医療機関、各種の商店等が立ち並び、利便性は十分である。ホームは4階建ての一階部分にあり2階部分は企業型託児所となっており、日常的に約40人の子供たちの歌や歓声が聞え、また、園庭で触れ合っている。法人母体の協力医療機関とは、24時間医療連携の体制を構築し、早期の治療や相談、健康管理等を徹底しており、利用者や家族の安心に繋がっている。

地域密着型事業所として、開設以来、地域との交流を大切に取り組んできており、自治会に加入して情報の把握に努め、通常は地域行事や奉仕作業等への参加、買い物や散歩時の会話、施設見学やボランティア、友人知人の面会等を積極的に受け入れてきている。また、民生委員や地域住民との協力も得られるなど、地域の一員として良好な関係を構築しているが、新型コロナウイルスの感染予防のため現在は外食や買い物、イベントの参加、ホームの行事への家族や住民の参加等は自粛している。訪問美容や他科受診、地域住民から寄せられる認知症対応等の相談には専門性を生かして丁寧に助言する等の交流は継続している。

管理者及び職員は、開設時に掲げたホームの理念を玄関に掲示して周知を図り、日々理念に沿ったケアの実践に努めている。利用者の高齢化や認知症の重度化により、入浴や排せつ時のケアは半数以上の利用者が複数介助を要しているが、利用者の心身の状態や生活習慣に配慮し、尊厳や人格、想いを大切にケアに取り組んでいる。また、利用者の意向に沿って趣味等への取り組みも個別に支援するなど、利用者主体の生きがいのある暮らしとなるよう努めている。利用者及び家族からの意向や要望を、ケアの中や面会、電話、LINE等で汲み取り、ミーティング等で協議して改善を図っており、本調査に係るアンケートの結果からも、家族との信頼関係が築かれている状況が窺える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	グループホームの在り方、当事業所の理念を念頭に、地域住民の協力を頂きながら生きがいのある生活を提供している。(コロナ禍の影響あり)	開設時に作成した地域密着型サービス事業所の意義を踏まえた3項目からなる理念を目に付きやすいリビングに掲示して周知を図っている。日頃のケアの中や毎月開催のミーティング等でケアの振り返りや意見交換等を行って理念を共有し、尊厳や人格の尊重を常に意識しながら、理念に沿ったケアの実践に日々取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、回覧板等で情報の収集や発信を行っている。屋外散歩やボランティア受入れを通じて、近隣住民との挨拶、会話をされる関係が出来ている。(コロナ禍の影響あり)	町内会に加入し回覧板等で情報を把握して、地域のイベントや清掃活動への参加、散歩時の挨拶、地域住民から農産物等を頂く等、円滑に交流してきているが、コロナ禍に配慮して、現在は買い物、外出、外食、ボランティアの受け入れ、ホームの行事への住民の参加等は控えている。訪問美容、通院、奉仕作業への参加、夏休みのラジオ体操に駐車場の提供、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談への対応は継続し交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	民生委員および地域の方々との連携を取りながら、家族から相談を頂き、サポーターとして地域と交流している。(コロナ禍の影響あり)		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	協議・報告議案に対して、出席者からの意見をいただき、改善策を話し合っている。また、作成した議事録を職員全員で共有し、サービスの向上に取り組んでいる。(コロナ禍の影響あり)	会議は、家族、自治会長等が出席して隔月毎に開催しているが、コロナ禍に配慮して昨年からは一堂に会することは控えて書面での会議に変更している。利用者の状況やホームの運営、行事、感染症予防、ヒヤリハット等を資料にして委員や全家族に送付して意見等を貰うようにしており、寄せられた要望や意見に対してはミーティング等で検討して改善に繋げている。議事録は、常時、玄関に置いて、家族の閲覧に供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じて事業所の実情を伝えており、日頃より連携を図り協力関係を築くように努めている。（コロナ禍の影響あり）</p>	<p>介護保険の更新や各種制度の申請、報告、運営やケアに係る相談、感染症予防に関連する協議等を、窓口に出向いたり電話やFAXで行って指導や助言、提案をもらうなど、市担当者とは密に連携して協力関係を築いている。市からの情報の把握に努めサービスの向上を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「身体拘束をしない」を目標に掲げ、定期的に研修会と委員会を開催している。また、身体拘束マニュアルを作成し全員で共有している。</p>	<p>身体拘束や高齢者虐待については施設内研修や法人の在宅部門研修会で計画的に研修を実施して周知を図り、毎月のミーティングや日々の引継ぎ時に振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる。身体拘束適正化の指針を整備し、委員会（コロナ禍に配慮して現在は職員会議後）も定期的に開催している。日頃の関りの中で利用者の思いを汲み取り、尊厳や個性を大切にされた支援に努めており、不適切な言動には、その都度、注意や助言して改善に取り組んでいる。成年後見制度を活用中の利用者（1人）については、後見人との連携に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的で開催している研修会を通じて職員の意識の向上と情報の共有に取り組み、高齢者虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料を用いて研修会を開催し、学ぶ機会を設けている。現在、後見人制度を利用される利用者が入所されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に読み合わせを行い、家族の理解、承諾をを頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営上必要な事は早めに家族に発信して理解を頂いている。苦情相談窓口も設置しており、面会時に家族へ何か要望がないか確認している。	利用者や家族には、日頃から気軽に意見や要望を述べて貰えるように配慮している。利用者の思いは日常の会話で、また、会話が困難な利用者からは表情や仕草等で汲み取りに努め、家族からは窓越しでの面会や電話、メール、家族アンケート（集計結果は家族にも送付）等で、また、「花いちもんめ通信」や近況報告を月2～5回送付して利用者の実態を伝えて意見をもらうように努めている。職員は出された意見要望等を共有し、ミーティング等で協議して改善に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員ミーティングの中で意見交換を行い、スタッフが気軽に意見を出し合えるようにすることで、円滑な業務運営に取り組んでいる。	管理者及び職員は日頃から気軽に意見を言い合える信頼関係の構築に努めている。通常の業務の中やミーティング時に意見や要望を出し合い、年2回の人事考課時の個人面談やストレスチェック等も行って業務やサービスの改善に取り組んでいる。管理者は、業務に対する助言や指導、研修を実施し、休憩時間の確保や勤務シフトに有給休暇の取得や個人的事情にも配慮する等働きやすい職場環境の整備に努めている。また、法人による給与体系や福利厚生、外部研修時の経費の助成などの体制が構築されて、モチベーションアップに繋がっている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現場管理者は職員の意見を聞き勤務状況を把握して本部に報告、連絡を取りながら現場の環境作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修が良質なケアの提供につながる事を理解し、内・外部研修への参加を促し、職員ミーティングの中で情報・知識を共有出来るように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会への加入によって、情報の収集や研修会の参加を実施し情報の交換に活用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	個人を尊重したうえで家族とも多くの情報交換を図っている。また、個別性を重視する為、本人の不安、悩み等を傾聴し、信頼関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や電話等で常にコミュニケーションを取らせて頂き、家族の悩みや不安を聞くことが出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用前に何度か面談を行い本人や家族と話す機会を設け、関係作りに努めたうえで、家族や利用者のニーズに合わせたケア、サービスの提供に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所前に本人・家族より以前の生活状況を聞き取り日頃の生活習慣を把握し、コミュニケーションを取りながら、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の状況や写真を通信にして作成し、家族や行政へ配布している。また毎月、管理者が近況報告書を作成し、日々の様子・病院受診の記録、計画作成担当者からの意見をまとめ渡している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の利用者がほとんどで、家族の面会が多い。法人行事の文化祭には地域住民の参加があり、知人・友人との交流が図られている。重度化して遠出等の外出は困難な状況ではあるが、電話の取次ぎなど関係継続の支援に努めている。	地域から入所の利用者が多いこともあり、日常的に家族や友人、知人の面会が多いため、感染予防対策を徹底して窓越しの面会を実施している。電話での対話や訪問美容、家族との通院、法人の文化祭への参加、少人数でのドライブで馴染みの街並みや自宅近辺を車窓から眺める等、工夫して取り組んでいるが、コロナ禍を考慮して、買い物や外出、一時帰宅、会食、墓参等は控えている。家族との電話や手紙等を取り次ぎ、また、「花いちもんめ通信」、「近況報告」で利用者の状況を伝える等、工夫しながら関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の生活歴、趣味等を把握して、職員が間に入り自発的な交流を持てるように配慮し、良好な関係が保たれるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後は、本人の状態等を面会を通じて把握し、家族にも連絡をとり経過をフォローしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人とコミュニケーションを図りながら思いを聞き取り、本人の希望や意向に沿った支援を行うよう心がけている。また、困難な場合はスタッフ間で話し合い、問題解決に努めている。	入所時の情報や、日頃の会話、表情、仕草等から利用者の思いの汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら利用者主体の生きがいのある生活となるように取り組んでいる。趣味（ぬり絵、活花、書道、音楽やテレビ視聴他）や洗濯物たたみ、テーブル拭きなどの取り組みも、利用者の意向や心身の状況に配慮しながら個別に支援し、その成果には必ず感謝や評価の言葉を添えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に、これまでの生活歴、社会背景等を家族、本人より聞き取り把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	精神状態、身体状態を把握した上で、一人ひとりの残存機能に合わせた生活が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングを実施し、担当者会議は面会時や家族の都合に合わせて計画、主治医の意見や家族の思いを踏まえ定期的な見直しと必要時には随時見直しを行い、現状に見合った介護計画を作成している。	日頃から利用者や家族の思いや意向の把握に努め、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や楽しみ事等にも配慮した利用者主体の介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿って計画を変更し、家族の了解も得て改善に取り組んでおり、ケアの実施状況は業務日誌や排泄・水分チェック表等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録を活用し、職員全体で利用者の状況を把握・共有して介護計画に沿ったケアの実践、見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	行事の実施や屋外への外出、また個別の要望にも出来る限り応じるなど、グループホームだからこそ出来る支援の充実に努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域には高齢者介護施設や保育園が多くあり、また、施設の2階には加治木温泉病院の託児所が併設しており、交流を通して、楽しまれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するそれぞれのかかりつけ医を支援している。主治医とは日々情報交換・報告を行い、家族にも説明して連携を密にとっている。緊急時の対応についても24時間医療連携体制が整っている。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しているが、利用者の殆んどが協力医療機関を主治医としている。歯科や主治医の訪問診療（月2回）が実施され、他科受診は家族と協力して同行している。協力医療機関との24時間医療連携の体制を構築し、相談や早期治療、緊急時の対応等適切な医療が受けられており、週1回、看護師の訪問による衛生や健康管理も徹底している。健康状態は家族にも密に報告していることで利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の健康状態について介護職員と看護職員が密に情報交換を行い、適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時に情報提供書により入院までの経過・病歴・内服薬緊急連絡等の情報を作成し情報の共有に努めている。また入院中においても定期的に病院と連携を図り協力体制・情報共有に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化した場合の対応や延命措置についての確認を行っている。身体状況に応じて段階的に主治医を交えて家族に説明し、今後の方向を話し合い、グループホームで出来る限りの最大の支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用開始時に、本人や家族に重度化の対応（看取りを含む）を指針で説明して理解を得ており事前確認書も貰っている。入所後は病状に応じて随時、話し合いや意向の確認を行い、可能な限り家族の想いに沿ったケアをチーム体制で行っているが、殆どが最終段階で医療機関への入院を選択している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時マニュアルにより全職員へ周知を行うとともに、定期的に救命救急の研修会を開催し実践力の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署指導のもと昼夜構想で託児所と合同の防災訓練と避難訓練を行っている。また周囲の医療機関や施設との非常時の協力体制も整っている。</p>	<p>夜間発生を想定した火災を主とした災害訓練を年2回（内1回は消防署立ち合い）、階上の企業型託児所と合同で実施し、また、法人の有料老人ホームとの合同訓練や炊き出し訓練も行っている。また日常的に避難経路や消火器の設置場所等の確認を行い、災害の報道を話題にして防災への認識を共有している。食料や飲料水は14日分程度を備蓄し、カセットコンロやラジオ、懐中電灯等も備え、託児所や同法人の事業所との災害時の協力体制も構築している。管理者はホームの防火管理者を努め、県災害派遣福祉チームのメンバーにもなっており、災害対応への造詣は深い。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者が分かりやすく、個人の人格を尊重した言葉かけを行うよう努め、またプライバシーへの配慮を全職員で徹底している。	利用者の人格の尊重やプライバシーの保護、個人情報の対応については重要事項等にも明記され、研修の実施や意見交換等で認識を共有している。利用者の個性や習慣、心身の状態等に配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めており、ホームはプライバシーに配慮した構造になっている。一昨年の目標達成計画に「尊厳の尊重の意識向上」を掲げ、研修等の実施で改善を図っており、入室時は声掛けやノックを励行し、排泄や入浴等のケアは羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いで取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ほとんどの方が自己決定が難しい状況であるが、コミュニケーションを取ることで本人の気持ちに沿った自己決定が出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	身体状況・精神状態を把握しながら、本人の希望に添った介護支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に訪問美容室の方により髪のカットをして頂き、整容への支援をご本人の意向を聞き取り行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝・昼は職員が調理し、夕食は業者に委託している。嗜好調査を行い、本人の意向に沿った食事提供を行っている。食事前には嚥下体操をしたり音楽を流したりして、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しんで頂けるよう努めている。	利用者の好みや形態（トロミやミキサー食他）、季節感、栄養バランス、代替品等に配慮して朝・昼食はホームで調理し、夕食は業者委託になっている。おせちや恵方巻、敬老会、クリスマス等の行事食や誕生日の希望食、手作りのおやつ、弁当の購入、ラーメンレク、園庭でのお茶など工夫して食事が利用者の楽しみとなるよう取り組んでいる。利用者も食材の下処理やテーブル拭き等を楽しみながら行い、音楽を聴きながら和やかに食事している。口腔ケアもプランに沿って支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事・水分摂取チェック表を作成し、個々の状態が分るようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨き・うがい・義歯洗浄を実施し、必要時は協力病院の歯科による定期的な受診を行っている。また、希望に応じて、訪問歯科が介入している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄・水分チェック表を随時記録し、排泄パターンの把握に努めている。また、適宜トイレ誘導を行い、排泄感覚が継続するように、支援している。	利用者の自尊心や習慣、羞恥心等に配慮し、身体の状態やパターンを把握した支援をプランに反映させて取り組んでいる。昼間は声掛け等で可能な限りトイレでの排泄を支援して排泄感覚の維持に努めている。利用者の状態に応じて介護用品やケアの方法を工夫し、便秘の予防に植物繊維の多い食事や乳製品、水分の摂取、運動量に配慮し、主治医に相談しながら腹部のマッサージや薬を服用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の有無の確認を行い食事内容、水分摂取量の確認と腹部マッサージ等を行っている。また、繊維性のある食材を取り入れ便秘予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	定期的な入浴を実施している。身体能力低下により、介助は2名で安全に考慮しながら支援している。必要に応じて足浴や清拭対応を行っている。	基本週2回、個浴での入浴を支援しているが、必要時には、その都度、温タオル等で保清している。利用者の重度化により複数で介助する利用者も多いが、順番や温度、時間、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、また、入浴日に関係なくリビングで足浴を楽しんで貰っている。入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を行っている。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、清拭への変更や時間、声かけ等を工夫し、利用者自身の意欲を確認しながら支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムに合わせて、安眠や休息が出来る環境作りをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬処方時、処方薬の内容の把握・情報共有の徹底に努め、注意事項や状態の経過観察に努めている。内服の変更および臨時処方に対しては主治医の指示のもと確実に行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブル拭きや洗濯物たたみ等、利用者の残存機能に応じた共同生活での役割を担っていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩等に出掛けることによって、気分転換を図っている。家族様の面会時に家族と屋外を散策されることもある。家族の協力で、外出される利用者もいる。(コロナ禍の影響あり)	コロナ禍の為いろいろ制限はあるも、感染予防対策を徹底し、利用者の状況に応じて周辺の散歩や日光浴、通院、少人数でのドライブなど工夫して外出しているが、一時帰宅や外泊、外食、墓参等は控えている。地域のイベントの殆んどが中止され、ホームの行事も十分には実施できない状況が続いているため、室内での軽い体操や、懐メロ・テレビの視聴、園庭で草花を愛でる等、工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については「預かり金」という形で管理しており、購入希望時には、事前に家族に了解をいただいたうえで使用している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方の家族には、電話等で近況報告をしたり、直接本人と会話され安心されている。いつでも連絡が出来る環境作りに努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは全員のくつろぎの場として、広く季節ごとの花や季節行事の飾りを展示して季節感や生活感を取り入れて心地良く過ごして頂けるように工夫している。また、大きな窓から広々とした景色が見られ明るい。エアコンや加湿器で、空調整備を心がけている。</p>	<p>利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは、明るく余裕あるスペースが確保されており、テーブルやソファ、テレビ等が動線等に配慮して設置されている。利用者の作品や行事の写真、季節感のある活花等が随所に飾られ、対面キッチンからは調理の音や臭いが伝わるなど和やかな雰囲気になっている。清掃や室温、換気、整理整頓等を徹底し、感染症予防のための手指消毒剤等も設置されている。不快に感じる音や臭い等もなく、園庭で遊ぶ託児所の子供の様子を楽しんだり、四季を感じながら好みの場所で快適に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席、ソファ、居室などで、それぞれ好きな所で過ごせるよう配慮を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前に活用されていた家具や道具を使用して頂き、利用者が安心して過ごせるように環境整備に努めている。</p>	<p>洋室の居室は掃出し窓の構造で庭に降りる手すり付きスロープが全室設けてある。明るく、余裕ある広さが確保され、ベッド、エアコン、タンスが利用者の状態や意向に合わせて設置されている。利用者は在宅時に愛用していた寝具やテレビ、ラジオ、家族写真、衣装ケース、小物等を持ち込み、自身の作品や頂き物も飾って、家庭同様に落ち着いた雰囲気のある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存機能やご本人の意向の把握に努め、掲示物等の活用、職員による見守りや声かけをすることにより、安心して生活を送ることができるよう支援している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない